

平成24年5月5日（金）

**八ヶ岳南麓里山再生・農業支援友の会
会員の皆様へ**

「今年の苗作り」

今日現在ハウスの中は野菜の苗、稲の苗が所狭しと並び足の踏み場もない状況です。1月下旬に温床を作り2月からはじめた夏野菜のナス、ピーマン、トマト類は3度ネズミの襲撃に会い、先月3回目の播種は漸く二葉が出てきたところで畑への定植時期の遅れが心配です。そんな中、長野の安曇野で育苗のためのスクールがあることを知り参加することにしました。3、4、5月各1回、都合3回でそれぞれの時期に合った野菜の播種から鉢上げ、畑への定植と一通りの無農薬、自然育苗の基本を学ぶことが出来ました。ネズミ対策一つとっても水と酢と焼酎と木酢液で作成した液体で保湿のために播種したトレーを覆った新聞紙の上から散布することが有効であり尚且つ苗にとっての健康ドリンク的な役割を果たしてくれるそうです。無農薬りんご栽培の木村秋則さんも薄めた酢を病虫害対策に散布しています。また種のどの辺りから根、芽が出るかで種の向きを揃え、育苗土に播種すること、発根、出芽時と育苗時の温度管理は各野菜の原産地の環境に由来していること、水管理も日中行うと水玉で葉が焼け、葉の気孔が詰り光合成が不可能となるので避け、朝露のあるときに行うこと、茎本体を支える根を増やすよう発根を促す為の鉢上げ、植物は地上に出ている姿と地下に隠れている根の姿は相似形となっていますが成長は根が先行して根、葉、根、葉の順で成長していくこと等勉強不足と今まで以上に育苗には品種に応じ繊細に行わなければいけないと反省仕切りです。ともあれ苗づくりも人間界と同じで夫々の性格に応じ初期段階で程々の厳しい環境で育苗することが大きな実をより多く付けてくれますね。



手前亀の尾 奥ササシグレ

南瓜と胡瓜の播種（向きを揃える）

メール yamaki.yoshio@peach.plala.or.jp

八巻珍男
携帯080-3080-3017